

# 海外学生派遣事業 終了報告書

所属 : 物理科学研究科 宇宙科学専攻  
氏名 : 中宮 賢樹  
派遣先国 : アメリカ合衆国  
派遣先大学 : University of Colorado at Boulder  
派遣期間 : 2008年9月4日 ~ 2008年9月24日

## 1. 海外派遣先大学について

University of Colorado at Boulder(通称 CU)は1867年に設立された州立の総合大学である。コロラド州内で一番規模が大きな名門大学であり、学生数は3万人弱である。メインキャンパスはマラソンなどの高地トレーニングで有名なボルダーにあり、ロッキー山脈のふもとでイタリア・ルネッサンス様式の赤レンガの校舎が立ち並ぶ。

## 2. 海外派遣前の準備

派遣先の選定については、昨年の派遣受入を承諾して下さった元 University of Michigan の Scheeres 氏に依頼し、Scheeres 氏がこの夏から University of Colorado at Boulder に移るということで、滞在先は CU ボルダーとなった。また今回の滞在は約3週間だったのでビザも取得せず、大掛かりな準備は必要なかった。

## 3. 海外派遣中の勉学・研究

今回の滞在は正規の学生としてではないので授業の登録は行わず、いくつかの授業を見学という形で学生に交じって聴講した。

また、滞在中はこれまで行なってきた、太陽・惑星の重力と遠心力が釣り合う点を起点・終点とする軌道ダイナミクスの解析の続きを行なった。今回の滞在は約3週間と短いため、週に2、3度で約1時間、受入教官と計算結果や問題点についてディスカッションを行なった。

受入教官とは派遣期間後も電子メール等で連絡をとって討議しており、今回の海外派遣の成果は現在まとめている博士学位論文の中核となる予定である。

## 4. 海外派遣中に行った勉学・研究以外の活動

滞在期間が3週間と短かったのであまり遠出はしなかったが、現地の学生達と酒を酌み交わしながら交流をはかった。

また、滞在で一番印象に残っているのは、平日に行なわれたアメリカンフットボールの試合である。伝統の一戦で毎年一回行なわれるらしく、大学の講義は全て休講になり、平日にも関わらずスタジアムの周りは大混雑し、街をあげての一大イベントと言った感があった。



試合前のスタジアム

## 5. 海外派遣費用について

アメリカへの渡航費は、空港使用税などを入れて約 15 万円であった。宿泊先は3週間という短期の滞在を受け入れてくれるアパートは見つからず、結局キャンパス近くのユースホステルに滞在し、宿泊費は約9万円となった。食事は費用を抑えるために、近くのスーパーで食料品を買ってほとんどホステルで自炊をした。普段の移動手段は、現地で知り合った日本人にお願いして自転車を借り、それでまかかった。

## 6. 海外派遣先での語学状況

キャンパスにはほとんど日本人はいなく、常時英語を使用した。日常会話や受入教官とのやりとりでは何とかコミュニケーションを取れたが、あまり馴染みがないトピック(アメリカ大統領選挙の話題等)は苦勞した。

## 7. 海外派遣先で困ったこと(もしあれば)

成田空港からミネアポリス空港を経由してコロラド(デンバー空港)に向かったが、ミネアポリス空港は今まで経験した中で最も警備が厳しい空港であった。入国審査の際にかなりの人が別室に呼ばれて取調べを受け、また半数以上の方がスーツケースを開けて荷物チェックを受けていた。そして、次の乗り継ぎ便に乗れなかった乗客も数人いたようであった。その日は何か特別な日だったのかもしれないが、ミネアポリス空港での乗り換えには十分余裕を持った方がいい。

## 8. 海外派遣を希望する後輩へアドバイス

滞在期間が短い場合の宿探しは難航することが予想されるので、早めに準備を開始することをお勧めする。

最後に、このような海外派遣の機会を与えて下さった指導教官、受入教官ならびに総研大全学事業推進室の皆様へ感謝致します。